

2023年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年5月12日

上場会社名 株式会社タカトリ 上場取引所 東
 コード番号 6338 URL http://www.takatori-g.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 増田 誠
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 岡島 史幸 TEL 0744-24-8580
 四半期報告書提出予定日 2023年5月15日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切り捨て)

1. 2023年9月期第2四半期の連結業績（2022年10月1日～2023年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期第2四半期	6,267	50.6	825	35.0	862	25.9	591	24.8
2022年9月期第2四半期	4,161	38.6	611	289.5	684	180.4	473	177.6

(注) 包括利益 2023年9月期第2四半期 592百万円 (25.9%) 2022年9月期第2四半期 470百万円 (171.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年9月期第2四半期	108.26	-
2022年9月期第2四半期	86.71	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年9月期第2四半期	13,956	6,834	49.0
2022年9月期	12,664	6,406	50.6

(参考) 自己資本 2023年9月期第2四半期 6,834百万円 2022年9月期 6,406百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年9月期	-	0.00	-	30.00	30.00
2023年9月期	-	0.00	-	-	-
2023年9月期（予想）	-	-	-	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年9月期の連結業績予想（2022年10月1日～2023年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,000	56.5	2,200	62.8	2,300	57.3	1,600	55.6	293.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2023年9月期2Q	5,491,490株	2022年9月期	5,491,490株
2023年9月期2Q	31,334株	2022年9月期	31,286株
2023年9月期2Q	5,460,179株	2022年9月期2Q	5,460,326株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社グループとして約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 2「当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書.....	6
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書.....	7
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(追加情報)	9
3. 補足情報	10
生産、受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国では経済の柱である個人消費のコロナ禍からの回復、サービス業の需要の高まり及び良好な雇用情勢により景気は堅調に推移しております。一方、相次ぐ金融機関の経営破綻による銀行不安の収束に時間を要する場合には、企業や家計の資金調達環境が悪化し、企業の設備投資や住宅投資の大幅減を招く可能性があり、景気の先行きに不透明感が拭えない状況となっております。欧州では、ガス価格の下落や各国のエネルギー高対策の継続等により、景況感は改善傾向にあるものの実体経済への波及には時間を要する見通しとなっております。また、米国発の金融機関の経営破綻から金融機関の経営不安が急速に強まり、事態が長期化すれば、高インフレと併せて経済へ悪影響を及ぼす可能性があります。中国では、ゼロコロナ政策の撤廃により厳しい活動制限が緩和され、経済活動の正常化が進み復調傾向にあります。

一方、国内経済は、輸出の落ち込みにより製造業を中心に回復が遅れているものの、個人消費が幅広く改善され景気は復調傾向にあります。また、物価上昇の鈍化や春闘賃上げによる実質賃金上昇の加速により、今後も内需主導で景気回復が続く見通しとなっております。

このような経済環境の中、当社グループが関わる電子部品業界におきましては、環境対策、省エネルギーのニーズに向けた自動車のEV化や、ロジック・ファウンドリ（半導体受託製造）の旺盛な投資に加え、スマートフォン需要に一服感がみられるものの、通信基地局やデータセンターの通信部品需要、IoTや自動車関連向けセンサー投資に牽引され、市場環境は堅調に推移しております。

このような状況の中、電子機器事業及び医療機器事業につきましては電子部品の供給停滞状況の長期化、原材料高騰等の懸念があるものの堅調に推移しましたが、繊維機器事業につきましては低調に推移しました。

損益面につきましては、長納期部品の先行手配等で生産計画への影響を限定的に留めたことにより電子機器事業及び医療機器事業の受注・売上が順調に推移しました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、6,267百万円（前年同四半期比50.6%増）、営業利益は825百万円（同35.0%増）、経常利益は862百万円（同25.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は591百万円（同24.8%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(電子機器事業)

新素材加工機器では、受注につきましては大口受注を含む前連結累計期間との比較では減少したものの、国内外におけるパワーデバイス市場の設備投資意欲は引き続き旺盛であります。客先の工場建設計画の遅れ等による受注計画への影響はあるものの引き合いは強い状態が継続しております。売上につきましては、政治的緊張の高まりや半導体部品の長納期化等のリスクがあるものの、パワー半導体向けSiC材料切断加工装置が引き続き高いマーケットシェアを維持しており堅調に推移しました。

このような状況の中、販売額は増加しました。

半導体製造機器では、5G・IoTの拡大に伴うロジックICやEVの増加によるパワー半導体市場は堅調に推移しているものの、スマートフォン市場の設備投資が依然として回復しておらず、市場の二極化が続いております。

このような状況の中、パワー半導体市場からの受注は堅調に推移したものの、低迷したスマートフォン市場の影響により販売額は若干減少しました。

ディスプレイ製造機器では、中国ディスプレイメーカーを中心に生産調整による供給量の減少と需要の増加によるパネル価格の押し上げを図る動きから、PCモニターやノートPC、スマートフォンなどを中心に出荷数量が減少しております。

このような状況の中、パネルメーカー各社が生産設備の増強計画を延期したため、設備投資は依然として低調に推移しており販売額は減少しました。

その結果、売上高は6,028百万円（同51.1%増）、セグメント利益874百万円（同26.1%増）となりました。

なお、電子機器事業の当第2四半期連結累計期間における受注残高は、17,990百万円（同89.9%増）と高水準を維持しております。

(繊維機器事業)

繊維機器事業では、アパレル市場及び一般産業素材向け市場において、依然として市場環境の低迷が続いており投資計画見送り、中止などにより低調に推移しました。

このような状況の中、アパレルメーカーからの設備投資受注はあったものの、全般的には低調に推移したことから販売額は減少しました。

その結果、売上高は54百万円（同51.2%減）、セグメント損失44百万円（前年同四半期はセグメント損失19百万円）となりました。

(医療機器事業)

医療機器事業では、新型コロナの影響による部品の長納期化が、ODM及びOEMスケジュールに影響しましたが、長納期部品の先行手配をする等の対策により、受注及び販売活動は堅調に推移しました。また「胸腹水濾過濃縮装置M-CART」の医療機関への販売及びレンタル、試用貸出しを行いました。

このような状況の中、販売額は大幅に増加しました。

その結果、売上高は184百万円(同202.2%増)、セグメント損失4百万円(前年同四半期はセグメント損失62百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて1,292百万円増加、13,956百万円(前連結会計年度末は12,664百万円)となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて1,324百万円増加し、11,009百万円(前連結会計年度末は9,685百万円)となりました。これは、主に受取手形、売掛金及び契約資産が125百万円増加、棚卸資産が952百万円増加等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて32百万円減少し、2,946百万円(前連結会計年度末は2,978百万円)となりました。これは、主に建物及び構築物が26百万円減少、繰延税金資産が70百万円減少等によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べて864百万円増加し、7,121百万円(前連結会計年度末は6,257百万円)となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて925百万円増加し、6,965百万円(前連結会計年度末は6,040百万円)となりました。これは、主に買掛金が586百万円増加、電子記録債務が413百万円増加、契約負債が97百万円増加等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて60百万円減少し、156百万円(前連結会計年度末は217百万円)となりました。これは、主に長期借入金が49百万円減少等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて427百万円増加し、6,834百万円(前連結会計年度末は6,406百万円)となりました。これは、主に親会社株主に帰属する四半期純利益591百万円を計上したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて446百万円減少し、2,609百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の増加額268百万円、棚卸資産の増加額960百万円、仕入債務の増加額1,000百万円及び法人税等の支払額408百万円があったこと等により、432百万円の支出(前年同四半期は150百万円の収入)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出45百万円及びゴルフ会員権の取得による支出15百万円があったこと等により、69百万円の支出(前年同四半期は35百万円の収入)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入れによる収入300百万円、長期借入金の返済による支出72百万円及び配当金の支払額164百万円があったこと等により58百万円の収入(前年同四半期は185百万円の支出)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、「(1) 経営成績に関する説明」のとおりです。通期の連結業績予想につきましては、2022年11月11日の「2022年9月期 決算短信」で公表いたしました数値に現時点で変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,066,406	2,619,576
受取手形、売掛金及び契約資産	2,786,020	2,911,736
電子記録債権	259,269	402,502
仕掛品	1,944,004	2,692,186
原材料及び貯蔵品	969,140	1,173,129
その他	718,878	1,269,365
貸倒引当金	△58,560	△58,560
流動資産合計	9,685,159	11,009,937
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	993,319	966,392
土地	781,479	781,479
その他（純額）	148,125	179,390
有形固定資産合計	1,922,924	1,927,263
無形固定資産	18,694	26,946
投資その他の資産		
投資有価証券	617,044	626,844
繰延税金資産	300,643	230,115
その他	119,680	135,730
投資その他の資産合計	1,037,368	992,690
固定資産合計	2,978,988	2,946,900
資産合計	12,664,147	13,956,838

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,266,704	1,853,646
電子記録債務	1,561,411	1,974,961
契約負債	314,356	411,764
短期借入金	1,500,000	1,800,000
1年内返済予定の長期借入金	132,496	109,996
未払法人税等	437,773	227,024
賞与引当金	305,019	121,685
製品保証引当金	127,936	145,987
その他	394,459	320,691
流動負債合計	6,040,156	6,965,757
固定負債		
長期借入金	160,012	110,014
資産除去債務	32,894	33,109
その他	24,149	13,060
固定負債合計	217,055	156,184
負債合計	6,257,212	7,121,941
純資産の部		
株主資本		
資本金	963,230	963,230
資本剰余金	1,352,321	1,352,321
利益剰余金	4,064,566	4,491,880
自己株式	△17,729	△18,119
株主資本合計	6,362,389	6,789,312
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27,996	34,258
為替換算調整勘定	16,549	11,326
その他の包括利益累計額合計	44,545	45,584
純資産合計	6,406,934	6,834,897
負債純資産合計	12,664,147	13,956,838

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)
売上高	4,161,087	6,267,539
売上原価	3,021,818	4,845,152
売上総利益	1,139,269	1,422,386
販売費及び一般管理費	528,071	597,311
営業利益	611,197	825,075
営業外収益		
受取利息	923	953
受取配当金	3,329	7,769
受取賃貸料	3,477	3,481
受取ロイヤリティー	8,526	4,582
売電収入	4,804	4,752
補助金収入	28,438	16,854
為替差益	19,240	—
その他	9,660	6,931
営業外収益合計	78,401	45,325
営業外費用		
支払利息	1,256	1,336
為替差損	—	3,389
減価償却費	2,270	2,270
その他	1,335	1,138
営業外費用合計	4,862	8,135
経常利益	684,736	862,266
税金等調整前四半期純利益	684,736	862,266
法人税、住民税及び事業税	134,777	203,366
法人税等調整額	76,479	67,780
法人税等合計	211,256	271,147
四半期純利益	473,479	591,119
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	473,479	591,119

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)
四半期純利益	473,479	591,119
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8,495	6,262
為替換算調整勘定	5,500	△5,223
その他の包括利益合計	△2,995	1,038
四半期包括利益	470,484	592,158
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	470,484	592,158
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	684,736	862,266
減価償却費	69,860	69,306
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△63,185	△183,333
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△40,000	△50,000
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△81,953	18,051
受取利息及び受取配当金	△4,253	△8,723
支払利息	1,256	1,336
売上債権の増減額 (△は増加)	773,817	△268,949
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△349,957	△960,017
仕入債務の増減額 (△は減少)	426,508	1,000,491
契約負債の増減額 (△は減少)	△1,129,368	97,408
その他	△21,861	△602,094
小計	265,599	△24,255
利息及び配当金の受取額	13,626	1,581
利息の支払額	△1,270	△1,341
法人税等の支払額	△127,212	△408,094
営業活動によるキャッシュ・フロー	150,743	△432,110
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△61,261	△45,470
投資有価証券の取得による支出	△1,199	△1,197
投資有価証券の償還による収入	101,179	—
無形固定資産の取得による支出	△3,450	△7,920
ゴルフ会員権の取得による支出	—	△15,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	35,268	△69,588
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	300,000
長期借入金の返済による支出	△97,498	△72,498
リース債務の返済による支出	△5,920	△4,039
自己株式の取得による支出	—	△390
配当金の支払額	△81,988	△164,161
財務活動によるキャッシュ・フロー	△185,407	58,911
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,515	△4,041
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,120	△446,829
現金及び現金同等物の期首残高	3,071,334	3,056,406
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,074,454	2,609,576

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。これによる四半期連結財務諸表への影響はありません。

(追加情報)

(会計上の見積りに用いた仮定)

前連結会計年度の有価証券報告書の追加情報に記載した新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

3. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

セグメントの 名称	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)		前連結会計年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
電子機器事業	3,989,298	95.8	6,028,818	96.2	9,946,355	97.3
繊維機器事業	110,678	2.7	54,052	0.9	190,624	1.9
医療機器事業	61,110	1.5	184,668	2.9	86,495	0.8
合計	4,161,087	100.0	6,267,539	100.0	10,223,476	100.0

(注) 金額は販売価格によっております。

(2) 受注状況

セグメントの 名称	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)		前連結会計年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)	
	受注高 (千円)	受注残高 (千円)	受注高 (千円)	受注残高 (千円)	受注高 (千円)	受注残高 (千円)
電子機器事業	8,612,515	9,476,094	4,431,438	17,990,586	24,681,445	19,587,966
繊維機器事業	117,394	44,155	108,687	104,805	203,355	50,170
医療機器事業	108,104	93,186	238,551	222,141	208,562	168,259
合計	8,838,014	9,613,436	4,778,677	18,317,534	25,093,362	19,806,396

(注) 金額は販売価格によっております。

(3) 販売実績

セグメントの 名称	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)		前連結会計年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
電子機器事業	3,989,298	95.8	6,028,818	96.2	9,946,355	97.3
繊維機器事業	110,678	2.7	54,052	0.9	190,624	1.9
医療機器事業	61,110	1.5	184,668	2.9	86,495	0.8
合計	4,161,087	100.0	6,267,539	100.0	10,223,476	100.0

(注) 主要な輸出先及び輸出販売高及び構成比は、次のとおりであります。なお、()内は総販売実績に対する輸出販売高の割合であります。

輸出先	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)		前連結会計年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
アジア	2,413,063	90.3	4,606,780	90.7	6,479,192	85.9
その他の地域	260,682	9.7	471,425	9.3	1,067,250	14.1
合計	2,673,746 (64.3%)	100.0	5,078,206 (81.0%)	100.0	7,546,442 (73.8%)	100.0